



公開防災まちづくり講演会

「防災塾・だるま」第187回 防災まちづくり談義の会

演題

2019年台風19号浸水被害とその後から 防災まちづくりを考える

川崎市多摩区における床上浸水住宅の現実と復旧の問題点から 浸水地域・住宅の防災と課題

日時 2022(R4)年7月22日(金) 15:00~16:15

会場 横浜市青少年育成センター 第一研修室

(関内ホール地下2階)

Zoom参加併用 ハイブリッド形式



台風19号講師自宅及び周辺の浸水被害・改修工事状況

講師 河原典子 氏

(一社)神奈川県建築士会 防災・災害対策委員会 委員長

講師プロフィール Kappa研築工房 河原一級建築士事務所主宰/認定まちづくり建築士

心急危険度判定士/東京都木造住宅耐震診断技術者

「防災塾・だるま」理事



講演要旨

床上浸水被害、自宅近隣住宅の復旧改修工事を経験したことから、行政や町会に対して「浸水の原因究明」、「浸水(ハード)対策・防災(ソフト)対策のための意見交換や提案」求め続けてきました。

行政、地域、自身とも、災害に対するリスク管理と備えがないこと、災害時の様々な課題と現実を思い知らされました。2年8か月間の経験と「地域防災・地域タイムラインづくり」に至ったプロセスと想いを共有させていただきます。

講演会趣旨

5月の基調講演では、加藤孝明先生から「地区防災計画」の課題と展望について講演をいただきました。なぜ、この制度の活用が必要なのか。台風19号で自宅が被災した経験から、地域の防災まちづくりに取り組まれている河原典子氏にご講演をお願いしました。台風19号被害の実態とその後の取組をご報告いただき、被害を最小限にする防災まちづくりの未来像を共に考察したいと願います。(塾長 鷲山龍太郎)

会員スケジュール

1 定例会	13:30~14:45
2 防災まちづくり談義の会	15:00~16:15
3 防災サロン	16:15~16:45
(本日の感想・考察と次回サロン打合せ)	

主催 「防災塾・だるま」HP <http://darumajin.sakura.ne.jp>

対象 本会会員・一般 受講料無料

参加方法 会員：現地またはZoom参加(会員MLで設定を配信)

会員以外：下記次のリンクから、会場参加・リモートの選択をして参加申込みをしてください。折返し、Zoom設定をお送りします。

[🏠【会員以外の方の参加申込みフォーム】](#)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfnOCAYBTA-apZM2aaB0Y5d6Uj11PDTEinp2lOkFp3Kep2Yw/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&fbzx=6764458327964235382>

会場 JR根岸線「関内駅」下車徒歩約7分横浜市営地下鉄(ブルーライン)「関内駅」下車徒歩約5分
アクセス みなとみらい線「馬車道駅」下車徒歩約5分 関内ホール 地下2階 第一研修室



地図の印刷・ダウンロードは[こちら](#)

次回予定

第188回「防災まちづくり談義の会」9月16日(金)午後
講師 神奈川大学准教授 落合 努 氏 演題「地域のマルチハザード解析と対策構築」(仮題)